

YMCA News



一般財団法人鹿児島YMCA
鹿児島市真砂町34-6-209
TEL 099-296-7901
FAX 099-296-7902
発行人：新内博之

【鹿児島YMCAの使命】

生涯を通して学び、心豊かな人づくりのために働きます
人と自然が共生できる地球環境をつくるために働きます
心身ともに健康にらせる社会をつくるために働きます
愛に満ち、痛みを分かち合える社会をつくるために働きます
そして、私たちの活動を通じて、鹿児島、日本、さらに、世界の人たちに 命と平和の尊さを伝えます。

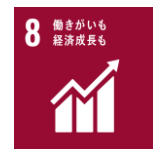
「夏の経験を活かそう」

鹿児島YMCA 総主事 新内博之

テレビをつければ酷暑、自然災害とニュースが続き、今年の夏も過酷だったんだなと改めて実感します。しかし、そんな暑い夏は子どもたちにとって熱い夏でもあったと思います。チアダンススクールの子供たちは、夏休み中全11件のイベントに出演。地域のお祭りやチャリティーイベント、奉仕団体などの会場でパフォーマンスなど様々な場面で盛り上げる体験を行いました。

夏休み特有といえばキャンプ活動。7月には兵庫県神戸市、8月には静岡県富士市で開催された全国規模のチアダンスキャンプに合計37名が参加し、全国のチアリーダーたちと交流を深めました。また8月の同時期にチアダンス世界大会で活躍する5チーム合同でのキャンプ、そしてリモートレッスンと一緒に活動している山梨YMCAのチアリーダーたちと合同でキャンプしました。そしてお盆明けには、鹿児島県の大隅青少年自然の家において総勢121名、鹿児島YMCA、鹿児島ユナイテッドチア、CAST Magicのファミリーチームに加え、鹿児島県長島町で活動しているCheers GEMの方々も参加し大いに刺激あるキャンプを開催しました。

夏の活動を通して、成長できたことによる自信、楽しかった経験は、秋から冬にかけて大きく飛躍するためにとっても重要になってくるエネルギー源です。夏の経験を活かして、充実した実り多き秋にしていきたいと思います。そして最後に、長い長い夏休みを乗り越えてきたのは何も子どもたちだけではありません。子どもたちに心を配り続ける夏を乗り切ったご家族のみなさん、本当にお疲れ様でした。



Vision 2030の取り組み

「世界YMCA Vision2030」に示された「4つの柱(活動領域)」は、それぞれ3つずつ、計12の行動目標で構成されています。

3つの目標とは、1.まずはYMCA内で変革を起こし、2.地域の変革へと広げ、3.世界の変革へと発展させていくというもので、世界のYMCAに連なる6500万人がそれぞれに一步を踏み出し、その変革を地域へ、そして世界へと広げていくことによって世界を変えていこうとする、実践的な目標です。

運動を広げる4つの柱



Community Wellbeing

コミュニティウェルビーイング

1



YMCAは、すべての人が、個人と集団のウェルビーイングを大切にしながら精神、知性、身体のパランスのとれた成長ができることを目指しています。YMCAは、2030年までに世界中の若者とコミュニティに向けて、高品質で適切かつ持続可能な健康とウェルビーイングへの方策を共創し、提供・提唱していきます。

- まずは
- ✓ **YMCAの改革** スタッフとボランティアは、心身の健康を心がけ、より良い生き方を目指す
これまでの方針や方法、慣習を変え、真にメンタルヘルスが尊重されるよう、YMCA内部にその文化を醸成する。
 - そして
 - ✓ **地域の改革** 精神、知性、身体的に成長できる居場所を作る
若者と地域社会に、精神、知性、身体との調和がとれた成長を促すプログラムを創る。
 - さらに
 - ✓ **世界の改革** 青少年を危険から守る
子どもと若者を危険や虐待、ネグレクトから守るための政策の改善と実践を支持する。



世界の事例

- オーストラリア／「学校の朝食プログラム」
家庭環境などによって朝食をとれない子どもたちのため、155以上の学校で、毎月平均70,000食の朝食を提供しています。
- イギリス／「ルームスポンサー」
虐待や離婚などによって安全な家庭生活が送れない若者たちに対し、衣食住やカウンセリング、教育や就労支援を提供、自信をもつ未来へ迎えるようにサポートしています。

運動を広げる4つの柱



Meaningful Work

やりがいのある仕事と雇用環境の創造

2



YMCAは、すべての若者が学び、価値のある有意義な仕事に従事し、持続可能な生活を築く権利を持っていると信じています。YMCAは、経済状況が変化していく中でも、価値のある、公正かつ公平な教育、トレーニング、雇用、起業の機会を創出し、拡大し、提唱していくことを目指します。

- まずは
- ✓ **YMCAの改革** YMCAスタッフに価値のある雇用と生涯学習の機会を提供する
YMCAに連なるすべての人に価値のある仕事と生活の機会が提供できるようYMCA内部の文化の醸成を確実に行う。
 - そして
 - ✓ **地域の改革** 若者と地域社会が「将来の仕事」に向けてより良い準備ができるよう支援する
将来の仕事のための準備として、教育、スキルアップ、雇用、起業の機会を提供するプログラムを開発する。
 - さらに
 - ✓ **世界の改革** やりがいのある仕事への提言
若者と地域社会の声を聞き広め、すべての人にとってやりがいのある、柔軟かつ有意義な仕事を促進する政策を提言する。



世界の事例

- カナダ／「移民支援プログラム」
カナダに移住してきた若者に対し、英語力の向上やカナダでの市民権を得るための準備、友人を見つけるための会話クラブなど、雇用に必要な準備から生活までマンツーマンで支援しています。
- 東エルサレム／「持続可能な農業技術の促進と若者の就労支援」
パレスチナの若者と女性に、持続可能で高度な農業スキルを伝え、安定した収入を得られるよう支援しています。

運動を広げる4つの柱



Sustainable Planet

持続可能な地球のために

3



YMCAは、私たち一人ひとりが地球の保護と再生のために行動し、人類が自然と調和して生きることのできる世界へ転換すべきであると考えます。YMCAは、気候変動に対する若者の積極的な発言と、彼らの主導による持続可能な解決策を推進し、より良い環境を目指す運動体となることを約束します。

- まずは
- ✓ **YMCAの改革** YMCAを気候変動に配慮した施設にする
環境に配慮した持続可能な施設となるために、積極的に行動する。
 - そして
 - ✓ **地域の改革** 環境への責任を果たす挑戦者として
YMCAのすべてのプログラムに気候変動に関する教育的要素を組み込み、参加者が環境に対する責任を果たす挑戦者となることを促す。
 - さらに
 - ✓ **世界の改革** 包括的な気候変動政策の提唱
グリーン経済への移行において、誰一人取り残されることのないよう確実に実行する。



世界の事例

- YMCAナイジェリア／「農業廃棄物から紙を生産」
トウモロコシの殻、オオバコ、その他の農業廃棄物から紙を作り、食品の包装材料に用いています。既存の製紙方法を変えることで、廃棄物削減を目指しています。
- コンボYMCA／「TeamTrees」
YMCAキャンプに苗木温室を建設して苗木を育てあげ、近隣の野山に植えて森林環境に取り組みしています。

運動を広げる4つの柱



Just World

公正な世界の実現のために

4



YMCAは、正義、平和、公正を求め、すべての人の人権を守ろうと努める若者やコミュニティの力を信じます。YMCAは、組織的な差別、不公平、不正などあらゆる種類の人種差別との闘いにおいてグローバルな発言者となり、すべての人の声が確実に届くよう、活動する若者とコミュニティの声を大きくしていきます。

- まずは
- ✓ **YMCAの改革** YMCAを真に多様で公平な、そして包括的なムーブメントにする
YMCAがすべての人にとって安全な居場所であるために、YMCA内部での方針を定め、行動する。
 - そして
 - ✓ **地域の改革** 平和構築や変革のための活動家として若者をエンパワーする
世界中の多様性、公平性、包括性、社会変革のための提唱者となる若者を育成する。
 - さらに
 - ✓ **世界の改革** すべての人の尊厳が守られるように声を挙げていく
すべての人、特に社会から取り残された地域の人が尊厳を持って受け入れられ、すべての声が聞き入れられ、それに基づいた行動ができるように、若者やコミュニティの声を挙げていく。



世界の事例

- 南アフリカYMCA／「犯罪者の更生をサポート『Y-Justice』」
犯罪者の再犯防止のため、釈放時に職業訓練と心理的・社会的サポートを行い、家族やコミュニティの一員としてつなぐを回復しています。
- レバノンYMCA／「難民支援プログラム」
レバノン国内で暮らすシリア難民の「架け橋」を目指し、フィンランドYMCAと共に子どもたちに教育や就労支援を行い、地域の中で生活しているよう支援しています。

2025年度の鹿児島YMCAとして、個人会員、法人賛助会会員社と共にVision2030に貢献する活動を行ってまいります。地域コミュニティに対しての活性化支援としての活動参画や、持続可能な地球環境を考えるための清掃活動、公正な世界の実現のために、世界食料デーと協働しての募金活動やいじめについて考えるピンクシャツデー運動などに取り組んでいく予定です。

ボランティアニュース

第16回鹿児島YMCAインターナショナル・チャリティーラン2025

障がい児支援を目的としたチャリティーイベント、チャリティーランは今年で16年目の取り組みとなります。参加費や協賛、寄付などでチャリティー基金を作り、全国のYMCAで障がい児キャンプやソーシャルスキルが身につくプログラムを実施しその運営資金に充てています。

日時 2025年12月20日（土）午前中
場所 ふれあいスポーツランド（鹿児島市中山）
内容 リレーマラソン（チームで10kmを走ります）



今年も鹿児島YMCA法人賛助会の南国殖産株式会社、日本ガス株式会社、瀏上印刷株式会社、株式会社カクイックスや鹿児島ユナイテッドFCといった企業の方々が中心となって実行委員会を組織し、イベントを盛り上げるためにボランティア活動をしていただきます。

チャリティーランでは、運営のお手伝いをしてくださるボランティアや、寄付や協賛などでご協力してくださる個人、団体や企業を募集しております。

世界食料デー街頭募金活動

世界食料デー鹿児島大会の実行委員会や鹿児島ワイズメンズクラブと協力して街頭募金活動を行います。

世界の穀物の生産量は世界のすべて人々が十分食べて生活できるほどあります。それで、飽食で食べ物を捨てている国がある一方で、飢餓で十分に食べられなくて亡くなる人々がいることの不平等を解決するために、先進国の豊かな国の人々が、飢餓の国の人々のことを思い、互いに助け合うようにと決められたのが「世界食料デー」です。

SDG s の目標2につながる食糧危機や飢餓対策問題について向き合い、貧困地域を支援するために集めた募金を世界食料デー鹿児島大会を通して日本国際飢餓対策機構へ献金します。

街頭募金活動詳細

日時：2025年10月19日（日）15:00～ ※1時間程度です
場所：鹿児島市天文館アーケード献血センター付近

参加希望の方は事前に鹿児島YMCAまでご連絡ください。



鹿児島YMCA事務局

鹿児島市真砂町34-6 吉永ビル209

TEL 099-296-7901

メール kagoshima@kagoshima-ymca.org

ボランティアニュース

清掃活動のご案内

地域清掃活動を予定しています。SDGsの目標14にある豊かな海を守ろうに賛同し、過去15年にわたって海に近いエリアの清掃活動を行っています。海に近いところは、生活圏から離れており、人の目も遠くなることから不法投棄なども多く社会問題となっております。昨今では、レジ袋などプラスチック製品が海に投棄されることにより海洋環境問題となっているのは周知の事実です。海に面し、豊かな海の恩恵を受けてきた鹿児島に住む私たちにとって環境美化だけでなく、環境問題と向き合う清掃活動にします。清掃活動の場所については、現在二つの箇所を検討しています。10月中旬には決定し、鹿児島YMCAのインスタグラム、Facebookにてお知らせします。

日時 2025年11月16日（日）8:00～9:00予定
場所 鹿児島市南部エリア



ピンクシャツデー推進実行委員会メンバー募集

2月のピンクシャツデーに向けて、運動を推進するボランティアメンバーを募集します。ピンクシャツデーとは、YMCAが2030年までに取り組む、公正な社会の実現に対して具体的に取り組んでいる活動で、いじめに目を向け、多様性が理解される社会に寄与するための運動です。これまで、自治体や教育委員会の協力をもらいながら学校現場に対してのアプローチを行ってきました。学校だけでなくもっと広い社会に向けて、ピンクシャツデー運動の意義を広め、一緒に取り組む仲間を増やしていくために取り組んでいきたいと思ひます。11月から準備をしていきたいと思ひますので、実行委員希望者を心よりお待ちしております。

実行委員会概要

日時：月に2回程度
場所：鹿児島市内
内容：鹿児島県内の学校機関へのピンクシャツデー推進アプローチ
ピンクシャツデーPR活動の企画運営



鹿児島YMCA事務局

鹿児島市真砂町34-6 吉永ビル209

TEL 099-296-7901

メール kagoshima@kagoshima-ymca.org

2025年夏の活動

夏のイベント出演&キャンプ

夏休みには、色々なところでイベント出演させていただきました。各所で子どもたちの笑顔や元気をもらったというお声をいただきました。秋のイベントシーズンに向けてレッスン頑張りましょう！



鹿児島ではもちろんのこと、神戸や静岡など全国各地でキャンプに参加してきました。新しい技術と出会ったり、全国各地のチア仲間と共に過ごす体験は、かけがえのない時間になったと思います。

鹿児島のキャンプでは、ダンスレッスンだけでなく、オリジナルポンポンつくったりしました。チアで一番大切な道具といっても良いポンポンに深く触れることで道具を大切にできる子どもたちに育ってほしいですね。



チアダンススクール

◆ クラス紹介・真砂校 ◆

ドリームリーダー（荒田夢子）

現在、真砂校は3歳から小学6年まで13名が所属しています。

今年は色々なイベントに参加させていただく機会があり、たくさんの方たちの前で緊張しながらも踊ることを楽しんでいます。

各クラス少人数ですが、その分お互いを思いやり助け合い、楽しく過ごせているように思います。またリーダーもより一層丁寧にそれぞれの個性を生かし対応しています。

第一期のジュニアチャレンジのダンスは、今まで以上に難しく最初は戸惑っていましたが、何度も何度も質問し生徒同士でも教えあい踊れるようになりました。



真砂校：月曜日

場所：真砂スタジオ

○ミニクラス（16:00-17:00）3歳以上

○ユースクラス（17:10-18:10）3歳～小学生

○ジュニアクラス（18:20-19:20）

○チャレンジクラス（19:30-20:30）

リボンテスト9級以上保持者

見学・体験随時お待ちしております！！



リーダー紹介

マリンリーダー（川口七海）

《趣味》

ダンスを踊ること

音楽を聴くこと

《経歴》

小学4年

・YMCAチアダンススクール松元校

小学5年～中学3年の始めまで

・選手コース

現在

・鹿児島ユナイテッドFCオフィシャルチア

リーダーNavy Stars所属



《メッセージ！》

今年の5月から、KUFCチアダンススクールのキッズ・ジュニアクラスとCAST Magic Elementsの担当をしているマリンリーダーです。

私は高校生の間チアから離れていましたが、今年からリーダーという形でまたチアダンスに関わることができ、とても嬉しく思います！

これまで学んできたチアダンスの技術はもちろん、チアリーダーとして大切なチアスピリットも大切に、子供たちに寄り添いながら楽しくレッスンをしていきたいと思っています。これからよろしくお願いします！

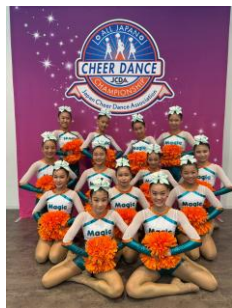
◆ 大会出場 ◆

まるリーダー（新内容子）

3月29日(土)に千葉幕張メッセで開催されたUSA Nationals 2025（全国大会）にて高校生チームのCAST Magic Faithが、アメリカフロリダ州で行われるIASF The Dance Worlds 2026（世界大会）への推薦を頂きました。前回、2023年に初出場して今回が2回目となります。前回出場時は部門準優勝という好成績を得ることができ、再び世界の舞台に立ち次こそは世界一を獲りたいと意気込んで次のシーズンも目指していましたが、残念ながら力及ばず涙を飲みました。全員がもう一度あの舞台に必ず立ちたいと必死の練習を経て、今回再び念願の出場権を頂くことができました。日本を代表するチアリーダーとして、心技体を磨き、目指す目標へと努力してまいります。イベントやワークショップなどでお目にかかる機会がありましたら、ぜひ応援のほどお願い致します！



9月27日(土)に福岡市総合体育館で開催された全日本チアダンス選手権九州予選大会に、CAST Magicの5チームが参加、高校生のFaithと小学生のFlareの2チームが全国大会に進出しました。全日本の頂点を目指して頑張ります。お披露目会でのたくさんの応援ありがとうございました。



リーダー紹介

シナモンリーダー
(上床美咲)

《趣味》

- ・音楽を聴くこと
- ・アニメ鑑賞



《経歴》

小学4年～中学3年

- ・YMCAチアダンススクール吉野校

高校1年～高校3年

- ・鹿児島ユナイテッドFC公式チアリーダー

《メッセージ！》

今年の9月から、吉野校と鹿児島ユナイテッド校を担当しているシナモンリーダーです。

私は、小学4年生から、吉野校でチアダンスを教わってきました。長年楽しんできたチアダンスと、これまでとは異なる形で向き合うことができ、とても光栄です。

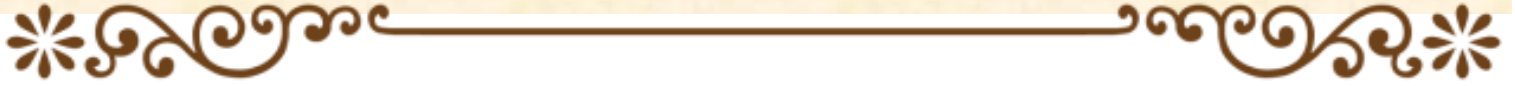
チアダンスのテクニックだけでなく挨拶や礼儀など、今まで学んだことを、楽しくお伝えしていきたいと思えます！よろしくお願いします。



秋の聖句

「敬天愛人と聖書」

マタイによる福音書22章36節



敬愛幼稚園園長・鹿児島加治屋町教会牧師
松本敏之

私が牧師・園長を務める鹿児島加治屋町教会・敬愛幼稚園は、加治屋町の西郷誕生地の隣にあります。敬愛幼稚園という園名は、西郷隆盛の座右の銘であった「敬天愛人」という言葉に由来しています。もっとも「天を敬い、ひとを愛する」ということが、聖書の精神に通じるからです。イエス・キリストは、「最も重要な掟は、神様を愛することと、隣人を自分のように愛することだ」と言われました（マタイ22：36～39参照）。ただこの二つの掟は、別々のことのように見えますが、深いところでつながっています。聖書では、隣人とは単に「隣にいる人」のことではなく、「隣にいて助けを求めている人」のことです（ルカ10：29～37参照）。聖書の神様は、「孤児、寡婦、寄留者」という当時の社会で弱い立場の人を誰よりも大事にされ、その人たちを守られました。ですから、その神様が大事にされる弱い立場の人を私たちも大事にすることこそが、神様を愛することに他ならないのだと思います。私たちは隣人を愛することによって、神様を愛するのです。



インフォメーション

2025年度基本聖句

【マタイによる福音書 22章39節】

「『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の掟である。第二も、これと同じように重要である。
『隣人を自分のように愛しなさい。』

- ・ 9月8日（月）
第56回常議員会, 第56回理事会, 第51回評議員会
- ・ 9/9, 10/14, 11/11, 12/9（火）
運営委員会、ワイワイ会議
- ・ 9/26, 10/24, 11/28, 12/26（金）
ホームレス支援おにぎりの会
- ・ 10/19（日）
世界食料デー街頭募金活動
- ・ 11/16（日）
地域清掃活動
- ・ 12月20日（土）
第16回鹿児島YMCAインターナショナル・チャリティーラン2025



ホームページ



Instagram



Facebook